

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月28日

事業所名:ここぶらす坂之上

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		規定や加配人員を超える配置を適切に行っている。	1歳児が利用する際等、状況に応じて安全に療育が行えるよう職員を手厚く配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			トイレや洗面台など、踏み台や補助便座を使用している。 毎日消毒の徹底を行い感染症対策に気を付けている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		感染症対策を引き続き行っており、利用者入れ替わりの際の消毒を徹底している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員間で共有し改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに毎年掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価は行っていないが、社内監査を年1回実施し、必要に応じて改善を図っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		活動では個別支援計画書の目標をもとに立案を行っている。	個別支援計画書更新時期に、保護者様と面談を実施し振り返りを行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員間で考案しながら立案を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		色々な領域をまんべんなく活動に取り入れられている。	ご利用者様の様子によって臨機応変に内容を変えていくことも検討する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員の役割分担も事前に行って配置をしている。	毎日朝礼・終礼を行い共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼時、必ずその日の振り返りを行い気づいたことや改善点を話し合っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		HUG(情報共有ツール)を使用し毎回記録を残している。	記録の記載方法が職員によって異なる為、記録の質の向上に向け改善を行っている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			現場職員も同席の上、対応している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れがない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか)		○		現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れがない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報提供等を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		助言を受ける機会はないが公開療育や研修の参加を積極的に行っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	保育所等訪問支援で園へ訪問し直接支援を行っている。	保護者からのご要望に合わせて実施を検討する。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		部会への参加はできていない。今後開催時期等、情報収集を行っていく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時に情報の共有を行っている。記録の公開について、情報共有ツールを使用している。	保護者が確実に記録を既読していただけるよう伝達が必要。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		保護者からのご要望に応じて今後実施を検討していく。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には必ずご説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談があった際には随時、お電話での対応や面談実施を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		令和5年に保護者会を実施済み。今後も定期的に実施していく予定。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者の相談をすぐに共有し改善に向けて全職員で意見を出し合える雰囲気がある。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回お便りを発行している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人名が出ている物などは所定の場所に保管し、使用を終えたものはシュレッダー処分を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		相手に伝わりやすい方法での情報伝達を意識している。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		現時点では地域住民を招待する運営は行っていないが、今後ご要望に応じて対応していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			保護者への周知は行っていない。内容に関してもBCPとの繋がりを持たせる為、改善が必要であり、現在改定中。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回避難訓練の実施を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に発作の有無や服薬状況について確認している。	ご利用者の状況にあわせててんかんや服薬について職員間で詳しく共有していく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在アレルギー対象の児童がいない状況。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットがある度に記録し共有しているので次の安全に繋げることができている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)